

この度、校内で発生いたしました健康上の問題により、

学生の皆様および保護者の皆様に多大なるご心配とご不安をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

B'CEBU は、2026年2月第1週より一部の学生に見られた腹痛、下痢、嘔吐などの症状を非常に重く受け止めております。

慣れない環境での生活により免疫力が低下しやすい時期であることを考慮し、

これまで生活環境および飲料水の管理に最善を尽くしてまいりましたが、

最近、特定のグループを中心に類似の症状が広がる傾向が確認されました。

このような状況の緊急性に鑑み、本校では直ちに緊急対応プロトコルを稼働いたしました。

現在までに確認された客観的なデータと、学校全体の対応措置を透明性を持ってご案内いたします。

現在の状況および調査結果（2月発生および診断報告）

以下の数値は、生徒マネジメントチームおよび校内クリニックの資料に基づいた客観的な指標です。

[学校内提携クリニック]

週別1日あたりの平均対応件数と主な症状

週	期間	1日あたりの平均対応件数	主な症状
第1週	2月 2~6日	約22.6件 / 日	消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）
第2週	2月 9~13日	約30.2件 / 日	消化器症状、発熱、呼吸器症状
第3週	2月 16~20日	約19.2件 / 日	消化器症状および経過観察・再診対応

■ 2月第1週（2月2日～6日） - 該当週の総生徒数：560名

約 22.6 件 / 日 消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）

※注：個人識別ではなく受診回数ベースで集計した数値のため、再診も累積されてカウントされます。

■ 2月第2週（2月9日～13日） - 該当週の総生徒数：533名

約 30.2 件 / 日 消化器症状、発熱、呼吸器症状

※注：個人識別ではなく受診回数ベースで集計した数値のため、再診も累積されてカウントされます。

■ 2月第3週（2月16日～20日） - 該当週の総生徒数：506名

約 19.2 件 / 日 消化器症状および経過観察・再診対応

※注：個人識別ではなく受診回数ベースで集計した数値のため、再診も累積されてカウントされます。

[校外病院受診・入院]

週別対応件数と主な症状

週	期間	病院受診	入院	主な症状
第1週	2月 1~7日	5名	0名	消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）
第2週	2月 8~14日	5名	3名	消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）
第3週	2月 15~21日	6名	2名	消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）

■ 2月第1週（2月1日～7日）- 該当週の総生徒数：560名

病院受診：5名

入院：0名

消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）

-----

■ 2月第2週（2月8日～14日）- 該当週の総生徒数：533名

病院受診：5名

入院：3名

消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）

-----

■ 2月第3週（2月15日～21日）- 該当週の総生徒数：506名

病院受診：6名

入院：2名

消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）

※ 専門家の所見：

医療機関の診断によれば、現在発生している疾患は、主に飲料水や食物を媒介とするか、

人との接触（糞口感染経路）を通じて伝播する感染性疾患であることが確認されました。

これは特定の施設の欠陥というよりも、外部から流入した菌やウイルスが接触を通じて拡散した可能性が高いことを示唆しています。

しかしながら、私共 B'CEBU は「内部の問題である可能性」をより重く受け止め、以下の通り内部措置を強化・実施しております。

-----

即時実施した防疫および衛生措置（先制的対応）

原因究明と同時に追加感染の拡散を防止するため、以下の総合的な措置を直ちに実施いたしました。

#### 1. 飲料水および環境の全数検査

専門機関に校内の水質検査を依頼し、併せてラプラブ市保健局を通じてキッチンおよびダイニングエリアの衛生点検を完了いたしました。

点検の結果、安全基準を満たしていることを確認しております。

#### 2. ウォーターサーバーおよびミネラルウォーター供給体系の全面点検

水質検査の結果に関わらず、学生の皆様の不安を最小限に抑えるため、

校内のすべてのウォーターサーバーの点検、維持管理プロセスの再確認、および飲料水供給業者の変更を即時実施いたしました。

#### 3. 個別ミネラルウォーターの無償提供

二次感染を予防するため、状況が安定するまで、すべての学生に個別のミネラルウォーターを無制限で無料提供しております。

#### 4. 校内消毒の強化

すべての共用スペースに対し、塩素系消毒剤（漂白剤）を使用して1日1回以上の定期的な消毒を行っております。

この消毒は人体や健康に影響を及ぼさない範囲で行っておりますので、ご安心ください。

また、ご要望がある場合は、滞在寮お部屋内のトイレも別途消毒作業を実施いたします。

## 5. 配膳方式の変更

接触感染予防のため、セルフサービス方式を中断し、衛生教育を履修したスタッフが直接配膳する方式に切り替えました。

-----

### 追加対応および医療支援体系

#### 1. ケアシステムの導入

感染拡散防止のため、クリニックの情報を基に、症状が明確な学生には、

十分な休息とトイレの単独使用を目的として「1人専用ケアルーム」へ移動していただきます。

これは専用トイレの使用を通じて感染を防止するための予防的措置です。（この期間、医師の判断により授業への参加は可能です。）

#### 2. 病院への同行

腹痛などの症状が強い場合は、学校スタッフもしくはマネージャの同行のうえ医療機関を受診していただきます。

#### 3. モニタリングおよび情報共有

状況が完全に安定するまでモニタリングを継続し、新たな変化があれば直ちにご案内いたします。

-----

上記の内容は B'Cebu 在校生全員に正式にアナウンス済みです。

B'CEBU スタッフ一同